

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	放課後児童健全育成事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	地域力 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	平塚市放課後児童クラブ条例、平塚市放課後児童健全育成事業の施設及び運営に関する基準を定める条例 等		
対象・受益者	小学生及び保護者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他 】【協働： 放課後児童健全育成事業運営委員 】		
目的・目標		事業の概要	
児童の健全育成が図られるとともに、仕事と子育ての両立が実現しています。		柔軟で効率的な事業展開を図るため、事業運営を放課後児童クラブへ委託するとともに、安心・安全な保育環境実現のため、民間借家の放課後児童クラブを小学校余裕教室等の公共施設への移設を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	施設整備に係る協議回数			単位	回
	説明・算定式	公共施設管理者や既存利用団体との交渉などの回数、専用施設建設に係る交渉などの回数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	10	10	10	10	
	実績	10	10	10		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	施設整備件数			単位	件
	説明・算定式	既存公共施設への移設(分割を含む)や専用施設の建設などの整備件数の累計				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	18	19	20	24	
	実績	18	21	22		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
平成26年度は、子ども・子育て支援新制度施行に先立ち、学童クラブの職員の資格や職員数などの基準を定めた「平塚市放課後児童健全育成事業の施設及び運営に関する条例」を制定しました。また、崇善小学校区で運営委託していた学童クラブを分割し、新たに運営委託を行いました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	児童福祉法で市町村が実施に努めるべき事業と定めており、また最近では、女性の社会進出や児童が被害者になる犯罪の増加からニーズも高く、市が取り組む事業として高い必要性があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	少子化が進行する中でも学童保育の利用者は増加しており、その充実は市民満足度を高めるうえで有効です。少子化対策や次世代の健全育成を図るためにも有効な事業です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	学童保育が公的サービスであることから、応能負担の原則により、世帯収入に応じた適切な利用料金を研究する必要があります。また、ニーズが拡大していることから、人員配置の充実も求められます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	学童保育の運営は、保護者会を始めとする各種団体への委託方式により行われていますが、保護者会運営は働く親にとって負担になっているので、社会福祉法人やNPO団体等の活用も検討する必要があります。	高中低
今後に向けた課題の分析				
働き方の多様化や女性の社会進出等により学童保育のニーズが益々高まっています。このため各地域の状況を把握し、新規委託や分割等による学童保育保育施設の充実が必要です。また、学童保育を利用する児童の安心・安全のため、老朽化、狭隘化している民間借家で運営されている学童クラブは、できるだけ速やかに公的施設への移転を進めていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	72,106	80,603	124,526	141,029
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	150,042	163,749	125,377	140,587
事業費 (A)		222,148	244,352	249,903	281,616
執行率 (%)		98.15	96.23	92.56	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
利用児童数の増加に対応した学童クラブの新規委託、分割等を行っていきます。また、平塚市放課後児童健全育成事業の施設及び運営に関する条例の基準に沿った学童クラブへの指導を進めていきます。
課長コメント
働き方の多様化や女性の社会進出等により、放課後児童クラブに対する市民ニーズは年々高まっています。平成27年度から子ども・子育て支援制度がスタートしていく中で、良好な施設の確保や指導員の確保・待遇等を含め保育環境の充実によりきめ細かに対応していきます。